

第64回セメント技術大会 講演要旨原稿執筆要領

1. 今後のスケジュールについて

- (1) **原稿提出締切日；2010年2月19日(金)17時必着(E-mailで講演申込書と共に提出)。**
- (2) 講演日時決定；2010年3月末頃の予定。4月中旬頃講演プログラムと共にご案内申し上げます。
- (3) 講演要旨の発刊；2010年5月上旬頃の予定。
(注) 講演要旨の講演者への進呈は行いません。

2. 講演要旨の体裁について

- (1) 講演要旨は、和文または英文といたします。
- (2) 原稿は、パソコン等で作成したA4判・縦使い・2段組・横書きのものを2枚といたします。
- (3) 原稿は1ページ当たり、25字×48行×2段組(文字サイズ；10.5ポイント相当、字体；明朝体を標準とします)とし、図・表・写真を適切にレイアウトした完成形のPDF(Portable Document Format)ファイルでご提出願います。なお、1ページ目には講演題名、講演者名等の表示に9行が使用されま(5.参照)ので、本文のスペースは39行分となります。
なお、**確認のため、ワードなどの原稿作成時のファイルの提出もお願いします。**
- (4) PDFファイルの作成にはAdobe Acrobat(アドビシステムズ(株))等を使用してください。
- (5) 講演要旨は、提出していただいたPDFファイルを白黒印刷したものを版下原稿としてA4判に印刷いたします。

3. 原稿用紙について

- (1) A4判(210mm×297mm)を使用してください。専用の原稿用紙はありません。
- (2) 余白は以下のとおりとしてください(厳守願います)。
上余白；25mm 下余白；25mm
左余白；17mm 右余白；17mm
- (3) 本文記入欄が文字サイズ10.5ポイントで25字×48行×2段組になるように設定(調整)してください。

4. 原稿に使用するフォント(字体)について

原稿に使用するフォント(字体)の種類や大きさについては、以下のとおりとしてください。

- (1) フォント(字体)の種類
和文 明朝体を標準とします。例)Windows MS明朝、Macintosh MS明朝・細明朝、など
英数字 Times、Times New Roman(Windows、Macintosh 共通)
PDFに埋め込みのできないフォントは使用しないでください。
- (2) 文字の大きさ
10.5ポイントまたはそれに近い大きさにしてください(ただし、タイトルのみ14ポイント)。

5. 1 ページ目のタイトル欄の記述方法について

以下にしたがってご執筆ください。

- 1 行目；講演題名を全角 3 字分空けて・明朝体・14 ポイントで記入してください。
- 2 行目；空欄または講演題名の予備行です(書式は 1 行目と同じ)。
- 3 行目；空欄
- 4 行目；所属および著者名を中央揃え・明朝体・10.5 ポイントで記入してください。
- 5 行目；空欄または著者(共同研究者)用の予備行です(書式は 4 行目と同じ)。
- 6 行目；空欄または著者(共同研究者)用の予備行です(書式は 4 行目と同じ)。
- 7 行目；空欄または著者(共同研究者)用の予備行です(書式は 4 行目と同じ)。
- 8 行目；空欄
- 9 行目；空欄
- 10 行目；本文の開始行です(これ以降は本文記入欄)。明朝体・10.5 ポイントで記入してください。

6. 著者の表示方法について

- (1) 1 講演当りの著者(共同研究者)数は、講演者を含めて4名以内とします。
- (2) 所属の表示は、大学 学部、(株) 部、(株) 研究所までとし、大学院の場合は、大学大学院 研究科 専攻(系)としてください。
- (3) 連名者がある場合は講演者名の前に印を付けてください(講演者が先頭である必要はありません)。
[例] 大学 学部 月山一夫 羽黒次朗
- (4) 連名者の所属が同一の場合は、氏名のみを連記してください。
[例] 大学 学部 月山一夫 羽黒次朗 湯殿満男
- (5) 連名者の所属が異なる場合は、改行して 5 ~ 7 行目にわたって記述してください。

7. 用字・用語について

- (1) 文章は簡潔に、原則として常用漢字および現代かなづかいを用い、用語については文部科学省学術用語、JIS および関係学会等の用語辞典から選択することが望ましい。
- (2) 文章の区切りには句読点「、」「。」を使用してください。

8. 本文の記述方法について

1 ページ目の 10 行目から 2 段組で記入してください。

(1) 見出し番号の付け方

見出し番号は全角にしてください。

- [例] 1. まえがき(あるいは「1. 目的」)
(1. から 2. に移る場合は改行し、必ず 1 行空けてください)
2. 実験の概要
2. 1 使用材料
2. 2 試験方法
- (1) 試験
- (2) 試験
- (3) 試験の条件
- a)
- b)
- c)
2. 3 試験結果および考察
(改行)
3. まとめ(あるいは「3. 結論」)
- 【参考文献】

(2) 単位はSI 単位を標準といたします。また、単位や記号および英数文字は半角を用いてください。ただし、ローマ数字、ギリシャ文字は原則として全角にしてください。

[例] m、mm、mol、N、J、abc、2、456、 、 、 、 、 、 など

(3) 化学式の表記は半角を用いてください。

[例] $3\text{CaO} \cdot \text{Al}_2\text{O}_3 \cdot 3\text{CaSO}_4 \cdot 32\text{H}_2\text{O}$

(4) 文中に数式を入れる場合は、上下1行あけて、左端から全角4文字分のスペースを入れてから記入し、式の右端に [] 付きの番号を入れてください。なお、点線は入れないでください。また、文中での呼称は式 [1]、式 [2]、・・・としてください。

$Y = ax + b$	1行あける [1]
ここに Y : 指数 a : 実験定数	1行あける
は全角スペースを表します。	1行あける

(5) まとめ(あるいは「結論」)は、箇条書きに整理すると簡潔になります。

[例] 3. まとめ

(1) 焼成温度の影響は、モルタルの圧縮強度による比較では、.....といえる。

(2).....は、.....といえる。

(6) 【参考文献】は、次のように表記してください。

a) 本文中の該当箇所の右肩に ¹⁾、²⁾、³⁾ のように上付き片カッコの文献番号を付し、末尾にまとめてその内容を記述してください。

[例]式 [1] ¹⁾ が一般に使用されている。これは、.....

b) 末尾の【参考文献】は、前段から1行空けて、左端に【参考文献】のように打ち、改行して1)以下を記述してください。

c) 参考文献の表示は、著者名：論文題名、雑誌(書)名、巻号、発行場所(書名の場合)、ページ (始まりと終わり)発行年(カッコで囲む。月日は不要)の順に記述してください。

d) 日本語文献の著者名は必ずフルネームを記し、姓名の間にスペースを入れない。連名者との区切りは読点「、」を使用し、連名者が3名を超える場合には筆頭著者以外を「ほか」として省略してください。

e) 日本語以外の文献の著者名は、名の頭文字を先に、姓を後に記す。区切りはカンマ「,」を使用し、連名者が3名を超える場合には筆頭著者以外を et al. として省略してください。

f) 頁の表記は、一頁のみで引用する時は p. とし、複数頁を引用する時は pp. - としてください。

1行あける

【参考文献】

- 1)月山一夫、羽黒次朗：セメントの種類と に関する研究、セメント・コンクリート、No.6XX、pp.23-29(19XX)
- 2)湯殿満男ほか： 装置を用いた硬化コンクリート中の 組織測定方法、セメント・コンクリート、No.7XX、pp.63-67(200X)

(7) 図・表・写真について

- a) 図・表・写真中の説明はすべて、和文原稿は和文、英文原稿は英文で表記してください。
- b) 図・表・写真の番号はそれぞれ独立した通し番号を付け、本文中でも図1、図2、表1、表2、写真1、写真2(英文の場合は、Fig. 1、Table 1、Photo 1)のように表示してください。
- c) 図・表・写真は、本文と区別ができるように上下1行ずつあけてください。
- d) 図・表・写真は内容が十分読み取れるように鮮明に作成してください。
- e) 図および写真にカラーを使用するのは結構ですが、講演要旨は白黒印刷いたしますので、白黒印刷でも明確に判読できるように必ず試し印刷を行って確認してください(特に、黄色や水色の線は、印刷が不鮮明になるので避けてください)。
- f) 表の「番号」と「タイトル」表示は上方へ、図、写真の「番号」と「タイトル」表示は下方にしてください。

9. PDFファイルの作成について

- (1) PDFファイルの作成には Adobe Acrobat(アドビシステムズ(株))等を使用してください。
- (2) 作成したPDFファイルには講演者の所属や氏名等を利用して簡潔な名前を付けてください。
- (3) PDFファイル作成後、必ず試し印刷をして原稿が正しく印刷されることを確認してください。

10. **電子ファイルによる提出について**

原稿はワードなどの原稿作成時のファイルおよびPDFファイルの両方とし、講演申込書と共にE-mailで提出(送信)してください。

- (1) **提出期限；2010年2月19日(金)17時必着(E-mailで講演申込書と共に提出)。**

- (2) 提出先；社団法人 セメント協会 研究所
技術情報グループ 「セメント技術大会係」宛
〒114-0003 東京都北区豊島4丁目17番33号
TEL 03-3914-2692

E-mail jcapi@jcassoc.or.jp

その他ご不明の点等は、上記「セメント技術大会係」までお問合せください。

以上